

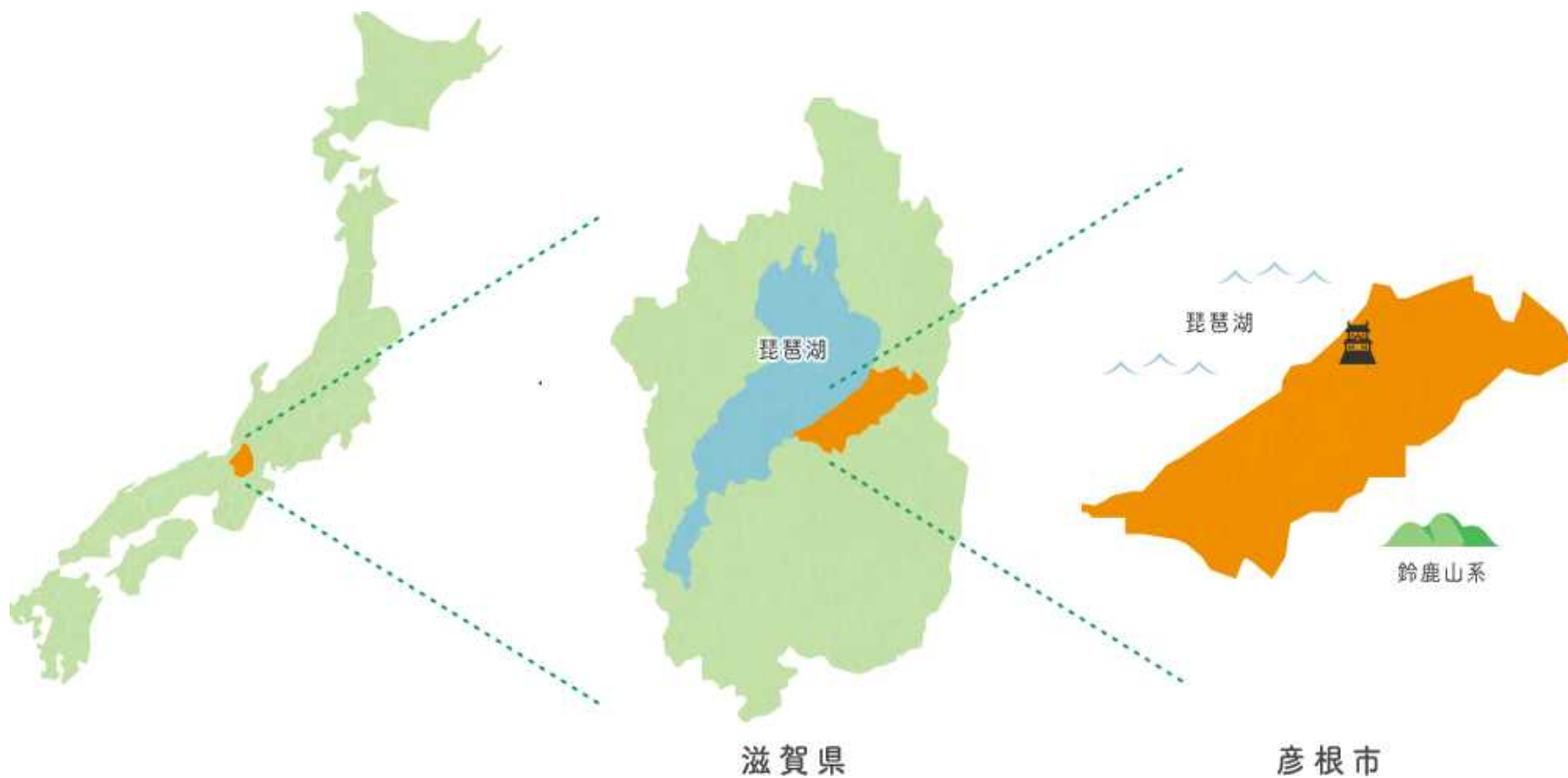
第159回 市町村職員を対象とするセミナー

彦根市の子ども・若者支援について



彦根市子ども未来部
子ども・若者課 兼 少年センター
垣谷 美貴

彦根市ってどんなところ？



面積：196.87km²（平成29年10月1日現在）

彦根市の現状

①彦根市の人口統計等

彦根市の人口（総人口）		高齢化率 ^(*)
昭和50年	85,066人	
平成7年	103,508人（18,442人増）	14.1%
平成27年	113,679人（10,171人増）	22.8%
令和2年	113,647人（ 32人減 ）	25.2%

※各年国勢調査による人口

(*) 出典:市介護福祉課「彦根市の介護保険」

(参考)

令和4年1月1日現在 **112,626人**（国勢調査＋住基）

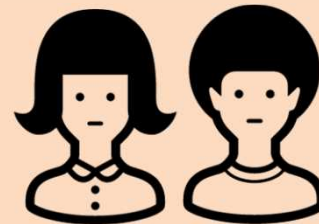
昭和50年から令和2年まで28,581人増加(約1.34倍)するも
現在は微減の傾向

彦根市子ども・若者課の体制

彦根市子ども未来部子ども・若者課
子ども応援係 2名

(課長補佐兼係長1名、担当1名)

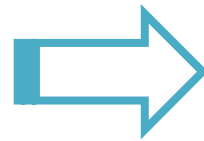
- ・ **生きづらさを抱える子ども・若者の支援**
- ・ 子どもの貧困対策
- ・ 青少年健全育成に関すること
- ・ **少年センターとの連携**



彦根市の子ども・若者支援の取組

生きづらさのある子ども・若者に対する具体的な施策

(1) ネットワークづくり
彦根市子ども・若者支援地域協議会



若者への支援に関する
アンケート調査

自治体によるひきこもり状態にある方の実態等に係る調査結果(令和2年度)

※ 調査時点 令和3年3月末
 調査対象 47都道府県
 1,741市区町村

■実施自治体数 ※ () は各区分毎の自治体数に占める割合

区分	都道府県	市区町村			合計	
		指定都市	一般市・区	町村		
自治体数	33 / 47 (70.2%)	484 / 1,741 (27.8%)	12 / 20 (60.0%)	238 / 795 (29.9%)	234 / 926 (25.3%)	517 / 1,788 (28.9%)
《参考》 令和2年5月 時点の自治体数	26 / 47 (55.3%)	371 / 1,741 (21.3%)	10 / 20 (50.0%)	188 / 795 (23.6%)	173 / 926 (18.7%)	397 / 1,788 (22.2%)

調査を実施していない自治体のうち、**95自治体**が令和3年度中に調査を実施予定

■調査方法 ※ () は、調査実施自治体数(n=517)に占める割合

調査方法	民生委員・児童委員 (アンケート・聞き取り)	保健師・NPO・事業者 (アンケート・聞き取り)	基本調査 (自治体独自のアンケート)	全戸調査 (アンケート)	その他 (当事者からの聞き取り、 住民からの連絡など)
自治体数	393 (76.0%)	105 (20.3%)	46 (8.9%)	10 (1.9%)	16 (3.1%)

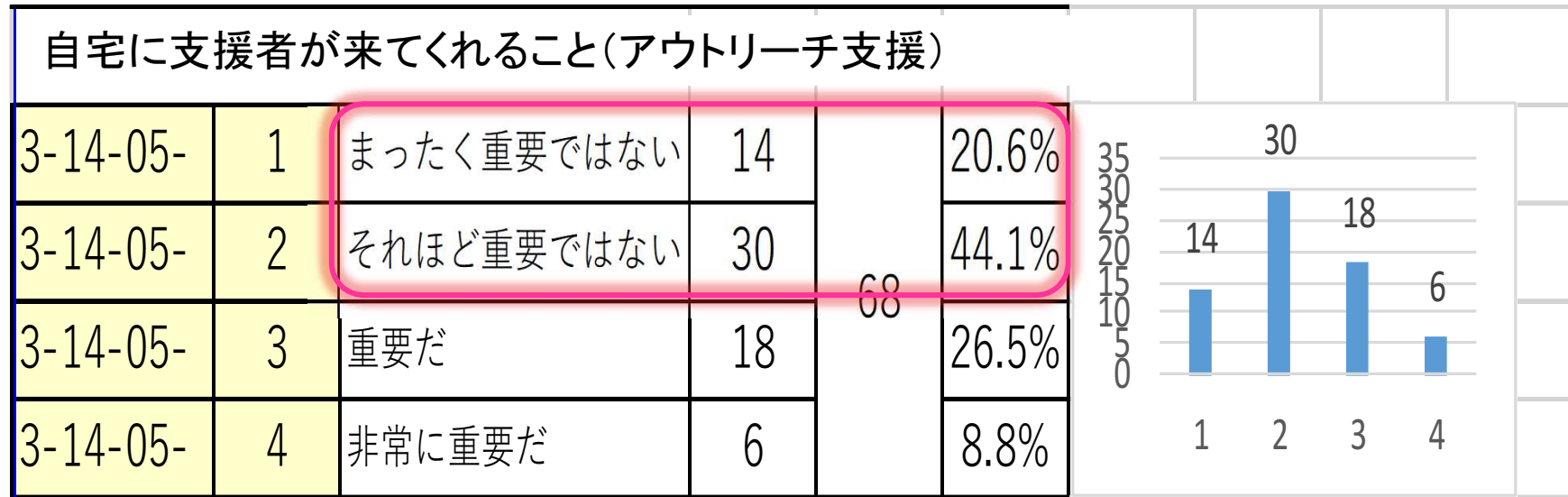
【留意点】

- 一部の自治体では複数の方法により調査を実施している。
- 調査対象者の定義や年齢層は、自治体によって差異がある。

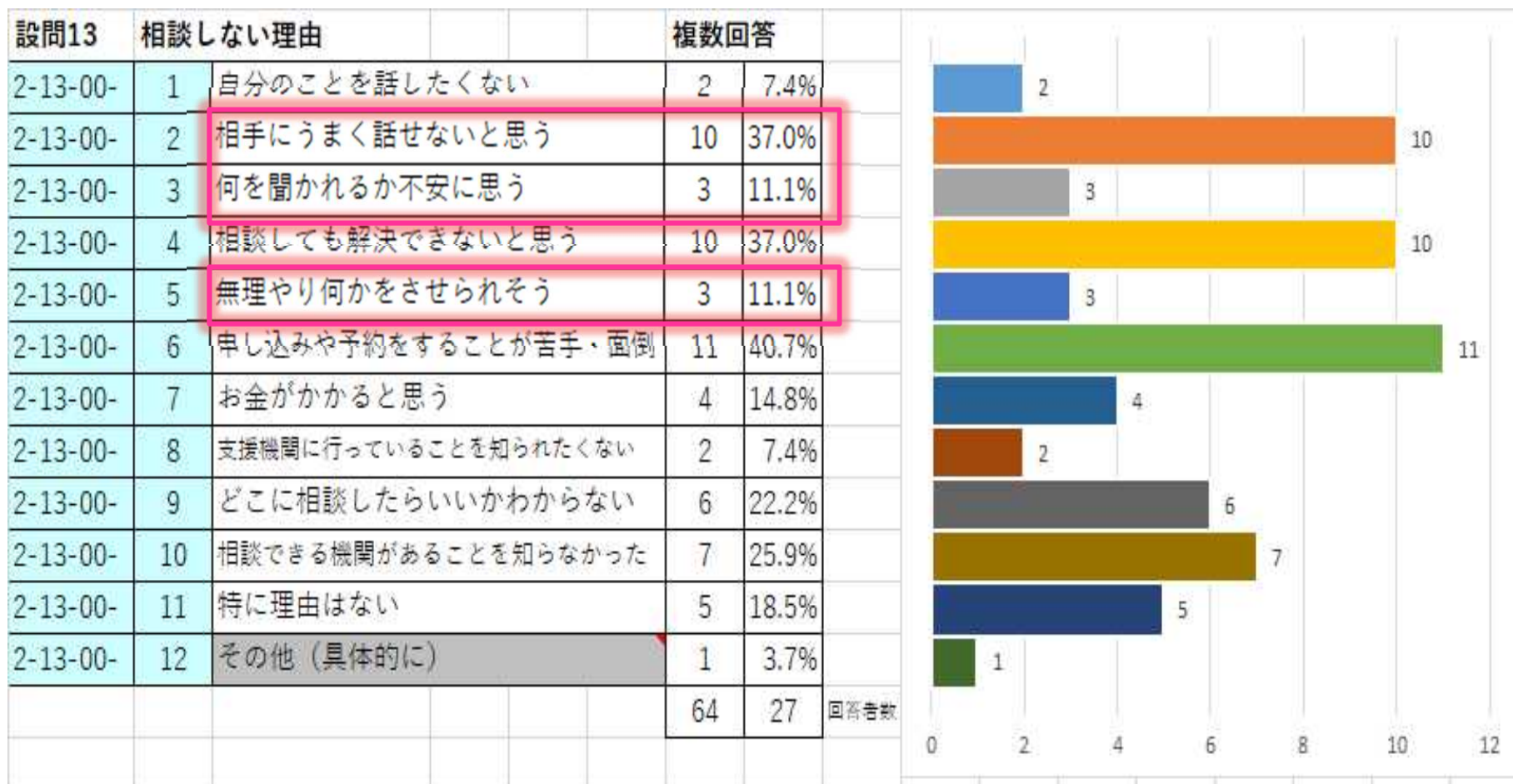
※ 令和3年3月厚生労働省調べ。

※ 各自治体が概ね過去10年間に実施した調査の状況について、厚生労働省がとりまとめたもの。

質問: 若者への支援において、次のことはどのくらい重要だと思いますか。



質問: 相談したことがない理由や思うことを教えてください。

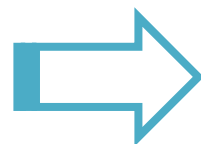


彦根市の子ども・若者支援の取組

生きづらさのある子ども・若者に対する具体的な施策

(1) ネットワークづくり

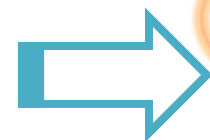
彦根市子ども・若者支援地域協議会



若者への支援に関する
アンケート調査

(2) 彦根市子ども・若者総合相談センター

- ・ 総合相談・サロン活動・カウンセリング
- ・ 子ども応援相談窓口(子どもの貧困対策コーディネーター配置)



直営

少年センターへ

子ども・若者課

彦根市
子ども・若者
総合相談センター

事業委託

NPO法人

少年センター 未成年(18歳)まで

街頭補導

環境浄化

啓発・広報

青少年環境問題対策

青少年立ち直り支援事業

あすくる彦根

無職少年対策



直
営
化

少年センター

青少年立ち直り支援事業

あすくる彦根



39歳まで

子ども・若者総合相談事業

子ども・若者総合相談窓口

街頭補導

啓発・広報

無職少年対策

環境浄化

青少年環境問題対策

彦根市の子ども・若者支援の取組

生きづらさのある子ども・若者に対する具体的な施策

(1) ネットワークづくり

彦根市子ども・若者支援地域協議会

若者の支援に関する
アンケート調査

(2) 彦根市子ども・若者総合相談センター

・ 総合相談・サロン活動・カウンセリング

・ 子ども応援相談窓口(子どもの貧困対策コーディネーター配置)

直営

少年センターへ

(3) 彦根市社会福祉協議会と一緒に (子どもの貧困対策)

ア 子ども・若者を応援する ひとつづくり、地域づくり事業

イ 「いい場所づくり」事業補助金

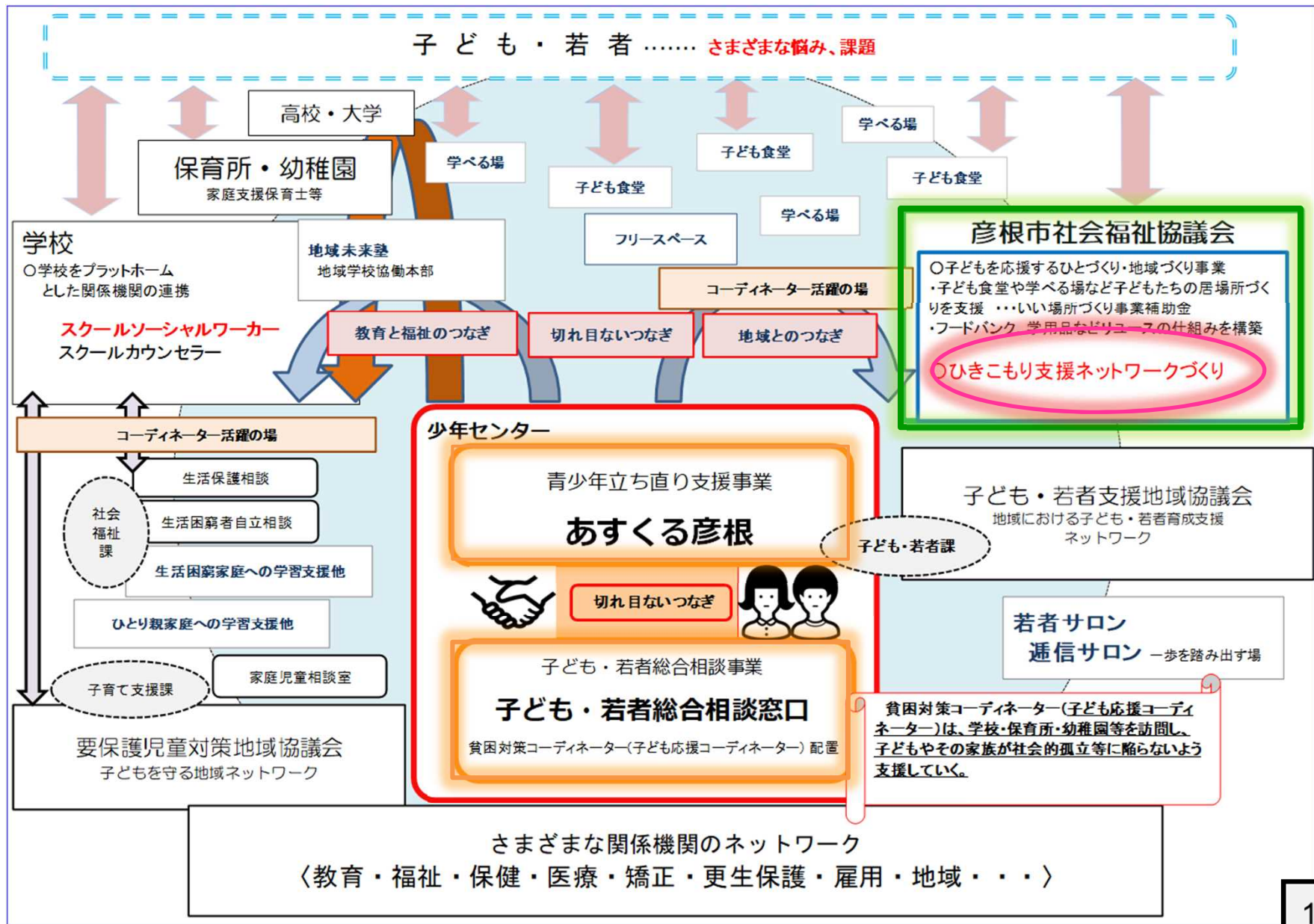
○地域での居場所づくり(学べる場・子ども食堂・フリースペース)

○仕組みづくり・体制整備(リユース・フードバンク)

(4) NPO法人と一緒に 「若者サロン」(通信サロン)

(5) 子ども・若者課で 「ガイドブック」「自習ができる公共施設」情報提供

(6) 社会福祉課で「学力向上支援事業」 教育委員会で「地域未来塾事業」





ご清聴いただきありがとうございました

彦根市社会福祉協議会さま

どうぞよろしく申し上げます